

令和5年度人権学習講演会

日時：令和5年10月18日（水）

午後2時から午後3時30分まで

会場：笑顔満開通り アспиラート 音楽ホール

【インターネットと人権】

演題：インターネットに潜む危険なワナ

講師：タレント

スマイリーキクチさん

SNSはかなり身近なものになっていて、簡単に自分が加害者になってしまうことがあるので、使い方には気をつけたい。言葉の重みを改めて感じた。
(参加者アンケートより)

講師スマイリーキクチさんのお話より

1. まわりの人の支え

僕は、ネットの掲示板で、とある事件の犯人として、でっち上げられました。そして、ネット上で誹謗中傷や脅迫にさらされたのです。脅迫罪の時効は3年ですから、3年分の証拠を集めました。

ブログで否定した2008年当時、ネットでの名誉毀損や脅迫を扱える警察の方は少なかったです。何度も何度も警察に相談し、ようやく出会えた刑事課の刑事さんが、「この事件私が担当するから。」と行ってくださって、とても心強かったです。

事件の報道の後、先輩の芸能人の方から「お前の今からが、誹謗中傷の今後を決めるぞ。しっかりやれ！」と激励してもらいました。

僕はこんな人たちに出会えて幸せだなと感じたことを今でも覚えています。

講師スマイリーキクチさんのお話より

2. 誹謗中傷を止めるには

ネットで誹謗中傷をする人たちは、自分が悪いことをしていると思いながら誹謗中傷の書き込みをしていると考えるかもしれませんが、でもそれは、違うんです。

僕を誹謗中傷した加害者の供述には、「ネットの掲示板で事件の犯人だという書き込みを見たから。」といったものがありました。つまり、自分は、悪いことはしていない、正義感からしたことだという理由だったのです。

正義感、自分は正しいと思うと、暴力的なふるまいを肯定することにもつながると思っています。それよりも、今自分が接している情報やとろうとしている行動が正しいことなのか疑う、「正疑惑（せいぎかん）」が必要ではないかと考えています。

講演会参加者アンケートより

- ・インターネットに潜む危険なワナだけでなく、一人の人としてどう目の前の人と接していけばよいか、ご自身の体験にもとづいた貴重なお話を伺うことができました。
- ・子供達にもしっかりと話してやりたいと思う内容でした。
- ・私もよくSNSを使うので、改めて気をつけようと思いました。家族や友人にもネットリテラシーの大切さを伝え、悲しい思いをする人が増えないようにしたいです。

《感謝の言葉の部分は省略させて頂き、原文どおり掲載しています。》